

北海道自家用新聞

北海道自家用自動車協会連合会
編集兼発行人 辻 澤 英 隆
札幌市東区北三〇東一(郵便番号 060-0000)
電話 (011) 721-4578

財務相、走行距離税検討せず 負担、産業政策にリンク

片山さつき財務相は、いわゆる「走行距離課税」について「政府として具体的に検討していない」と参議院予算委員会で答弁した。

11月12日、国民民主党の橋本賀津也幹事長からの質問に答えた。片山財務相は「車は走るためにあり、走行距離に課税するのはあんまりだ」との声を本音に伺っている」とも語った。

走行距離課税は2018年末の税制改正議論で浮上。世論や自動車業界の反発や課税技術の難しさなどもあり、税制改正大綱に盛り込まれることはなかったが、税制改正に強い影響力を持つ自民党の宮沢洋一参院議員は22年、本紙の取材に「燃料課税から走行距離課税に近い形に移行する可能性はあるだろう。40年代に

ジャパンモビリティショーで 全国のナンバー一堂に展示

ジャパンモビリティショー2025年の会場で、ナンバープレートと壁一面に展示したブースがある。写真。全国自動車標板協議会の「ナンバープレート展」だ。全国版と地方版の図柄ナンバープレートに加え、特別仕様ナンバーも展示された。2025年7月から新たに追加された「十勝」「日光」「江戸川」「安曇野」「南信州」を含めた全国73地域の地方版図柄入りのデザイン

今後の税負担のあり方について、片山財務相は「環境負荷に応じて調整する時にどういった戦略をとるかは、我が国がどういう車を強みとし、どう勝ちにいくかという産業政策にリンクする。なかなか話をまとめるのが難しい」と心境を明かした。

が紹介されている。大阪・関西万博と27年国際園芸博覧会の特別仕様デザインも展示。ナンバープレートの役割や要件、社会的機能などについても解説された。

北海道内の踏切事故は 冬期に集中する傾向があります！

北海道における踏切事故は、冬期に多発する傾向があり、過去5年間の踏切事故21件中、13件(62%)が冬期間(12月～3月)に発生しています。踏切手前での一旦停止を確実に励行するとともに、路面状況に応じた自動車の安全運転が求められています。

冬の踏切は ここに注意!!!

たとえば…こんな場面

- ツルツル路面で
踏切手前で止まれない
- 先詰まりで
踏切内に閉じ込められた
- 先詰まりをしているときは
踏切内に入らない
- スリップして
踏切内から動けない

迷わず非常ボタンを押して!!

Emergency Stop 非常ボタン

北海道運輸局・北海道・北海道警察・JR北海道・JR貨物・バス協会
ハイヤー協会・トラック協会・自家用自動車協会・道内いさりび鉄道

飲酒運転を発見したら、 警察に通報しましょう！

北海道警察ホームページの飲酒運転情報専用メールボックス「飲酒運転ゼロボックス」を活用してください。



年末年始に向けて飲酒の機会が多くなるとありますが、「お酒を飲んだら、絶対に運転しない」。飲酒運転は、自分の人生だけでなく、多くの方々の人生を崩壊させます。「飲酒運転をしない、させない、許さない、そして見逃さない」という規範意識を持ち二日酔い運転を含め、飲酒運転は絶対にやめましょう。

飲酒運転は、悪質で重大な犯罪です！

乗るなら飲むな！

▽お問い合わせ
北海道交通安全推進委員会
電話 (011) 221-6666
(<https://www.slowly.or.jp>)

北海道交通安全推進委員会からのお願い 年末年始における飲酒運転の根絶 12月は飲酒運転根絶対策期間です

年末年始に向けて飲酒の機会が多くなるとありますが、「お酒を飲んだら、絶対に運転しない」。飲酒運転は、自分の人生だけでなく、多くの方々の人生を崩壊させます。「飲酒運転をしない、させない、許さない、そして見逃さない」という規範意識を持ち二日酔い運転を含め、飲酒運転は絶対にやめましょう。

飲酒運転は、悪質で重大な犯罪です！

乗るなら飲むな！

▽お問い合わせ
北海道交通安全推進委員会
電話 (011) 221-6666
(<https://www.slowly.or.jp>)



トヨタ 運転能力を判定 「ドライビング・ヘルス」を一部販社で実証開始

トヨタ自動車は、運転能力シミュレーター「ドライビング・ヘルス」を用いた実証を一部の系列販売会社で始めた。名古屋大学と共同開発したもので「操作力」「リスク判断」「認知」「視野」の4項目で運転者の状態を判定し、運転能力を総合的に評価する。高齢ドライバーの事故が社会問題となる中、将来的な商品化をめたデータはシミュレーターの改良に活用していく。商品化の際はまず、自動車販売会社向けに売り出す考えだ。

警察庁によると、75歳以上の高齢運転者による死亡事故は増加傾向にあり、車両単独事故は75歳未満の約2.5倍になるといわれている。認知や判断機能の衰えも理由の一つで、取り締まりの強化では事故を防ぎにくい。国も高齢者の自主的な免許返納を促したり、75歳以上で一定の違反歴がある運転者に「運転技能検査」を義務付けるなど、対策を進めている。

車輪脱落事故 防止へ街頭検査 北海道運輸局

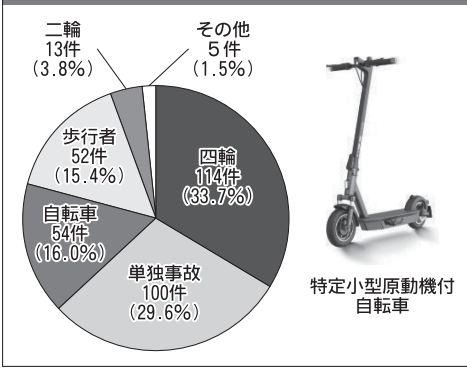
北海道運輸局は10月24日、車輪脱落事故防止のための街頭点検を札幌市街の主要幹線道路で実施した。脱輪事故の危険性が高まる冬タイヤへの交換時期に合わせて実施したもので、駐車中の大型トラック11台のホイール・ナットを確認。今回の検査で緩みはなかった。

2025年10月26日2月を「車輪脱落事故防止キャンペーン」期間とし、啓発活動を強化している。街頭点検は、北海道トラック協会、自動車技術総合機構北海道検査部と連携して実施した。トラック運転手に車輪脱落事故についての周知、啓発を行ったほか、ホイール・ナットに緩みがないかをトルクレンチや点検ハンマーを使用して点検した。写真。

車輪脱落事故は、季節のタイヤ交換時期以降に発生する傾向が強くなる。同局では「正しい作業と定期的な点検により未然に防ぐことが可能」と呼び掛けている。



相手方当事者別特定小型原動機付自転車
関連交通事故件数（2024年中）



特定小型原動機付自転車

連載「白書を読む」③警察白書
小型モビリティ利用者 低い法令順守意識

2025年版「警察白書」によると、24年に発生した電動キックボードなどの特定小型原動機付自転車に関連する事故のうち、約15%が飲酒運転だった。自転車や一般原動機付

自動車（原付）と比べると割合は非常に高い。終電後に電動キックボードで帰宅する人などが多かったとみられる。小型モビリティは手軽に移動できることが特徴の一つだが、法令順守意識が低い利用者も少なくない。改めて交通ルールの周知徹底が求められそうだ。

24年の交通事故の発生件数は23年比5・5%減の29万8955件だった。死者数は同0・6%減の2663人と前年とほぼ同水準だった。人口10万人当たりの死者数を状態別で見ると「歩行中」「自動車乗車中」の割合が多い。自動車の死亡事故の内容では「正面衝突」が最も多かった。直近5年間の死亡事故の発生時間帯としては「17～19時台」が最多で、特に12月は単月で200件前後の死亡事故が毎年発生している。

15歳以下の子どもの死亡事故は減少傾向にある。昨年は40人で、人口10万人当たりの死者数も過去10年間で最も低かった。事故時の状態としては「自転車乗用中」「歩行中」が多い。通学中に事故に遭うケースも多く、警察庁は、幼稚園や小・中学校、保護者などと連携し、各年齢に見合った交通安全を進める方針だ。近年、交通違反の横行が目立つのが電動キックボードだ。電動キックボードをめぐるのは、23年7月に施行された改正道交法により、最高時速20キロメートル以下のものであれば、運転免許がなくても利用できるようになった。分単位で使用できるシェアリングサービスも都内や観光

地などでの移動手段として活用が進む。ただ、普及に伴い、事故の発生率も上がってきた。特定小型原動機付自転車の昨年の事故件数は338件。単独事故が全体の約3割を占めており、運転手が転倒するケースが最も多かった。また、事故の際、運転手が飲酒をしているケースは全体の15%となる51件に上った。警察庁は「24時間いつでも使用できる便利さもあり、飲酒後の移動手段として用いられているのが大半だ。違反だと知りながら『少しだけ』という気持ちで乗る人も多い。ルールを改めて周知していく必要がある」としている。

また、SNS（交流サイト）の発達で、意図せず犯罪に巻き込まれる人が増えている。白書によると、近年はその類型も多様化している。マッティングアプリなどを通じて知り合った異性から金をだまし取る「ロマンス詐欺」の認知件数（24年）は1万2377件、被害総額は1272億円とともに前年を大きく上回った。被害者は40～60歳代が全体の7割以上を占めた。

また、匿名・流動型犯罪グループ（トクリュー）が犯罪の実行犯をSNS上で募集するケースも増えている。仕事内容は明かさず、「高額」「即日入金」などと謳（うた）い、人を集めている。応募者には、あらかじめ身分証明書の写真の提出を求めることで、犯行をちゅうちょした際に、個人情報等を盾に脅す手口だ。これらの犯罪の手口は巧妙化しており、白書は「極めて憂慮すべき状況にある」と警鐘を鳴らす。SNSの発達で誰もがさまざまなサイトにアクセスできる環境だからこそ、情報リテラシーの習得が不可欠だ。（連載おわり）



「ジャパンモビリティショー（JMS）2025」が10月30日から11月9日まで東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催された。会場では1～2年後に売り出す新型車（プロトタイプ）の展示が目立った。電気自動車（EV）シフトの減速や中国勢の台頭、米中摩擦など、自動車産業の先行きは不透明感が漂う中、各社は現実路線に回帰したようだ。経営再建中の日産自動車は、26年度に発売予定の新型「エルグランド」を公開した。現行モデルが登場して15年超となるだけに、ユーザーや販売店からは長らく次期モデルの登場が期待されていた。発売は1年ほど先となるが、商品企画本部の村智志チーフプロダクトスペシャリスト（企画責任者）はJMSの出席を通じて「お客さんに『待っていてください』というメッセージを届けた」と語った。

世界初公開となるホンダの小型SUV「ゼロアルファ」は、次世代EV「ゼロシリーズ」のエントリーモデルとして27年度に国内で発売する。同社はまた、AセグメントのEV「スーパードワン」も26年から日本を皮切りにアジアや英国に投入する計画だ。国内メーカーで唯一、脱エンジン」を宣言したホンダ。量販を狙ったエントリーモデルはEV普及の試金石となる。

スズキの「ビジョン・エースカイ」は、26年度に販売する軽乗用EVのコンセプトモデルだ。航続距離は270キロ以上。日産「サクラ」（180キロ）よりも長く、ホンダ「N」

「ジャパンモビリティショー（JMS）2025」が10月30日から11月9日まで東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催された。会場では1～2年後に売り出す新型車（プロトタイプ）の展示が目立った。電気自動車（EV）シフトの減速や中国勢の台頭、米中摩擦など、自動車産業の先行きは不透明感が漂う中、各社は現実路線に回帰したようだ。経営再建中の日産自動車は、26年度に発売予定の新型「エルグランド」を公開した。現行モデルが登場して15年超となるだけに、ユーザーや販売店からは長らく次期モデルの登場が期待されていた。発売は1年ほど先となるが、商品企画本部の村智志チーフプロダクトスペシャリスト（企画責任者）はJMSの出席を通じて「お客さんに『待っていてください』というメッセージを届けた」と語った。



世界初公開のホンダ「ゼロアルファ」はゼロシリーズのエントリーモデル

クルシリーズ中、最も小型で低価格になる見通し。ランクルシリーズはどの車種も人気だが、手ごろな価格のため、供給力が確保できれば人気になりそう。タイから輸入する。マツダもコンセプトモデルを2車種発表する一方で、26年の販売に先駆けて主力SUV「CX-5」の新型モデルを初公開した。最新の新型車は「CX-80」など上級車種が中心だったが、日本勢の中で米関税の影響が大きいマツダにとっても、量販モデルに対する期待は高い。

電気自動車（EV）や自動運転といった先進技術を軸としたコンセプトカーは影を潜め、各社の強みやブランドイメージを具体化した出展車が目立った。今回公開されたコンセプトカーのパワートレインは多様化した。環境負荷の低減は各社共通のテーマだが、そのアプローチ手法はブランドイメージや得意な技術ともリンクするだけに、より自動車産業の実態を投影したショーに回帰したとも言えそうだ。

「しんらい」と「あんしん」をお届けします。

北自共の総合自動車共済・自賠責共済

全道に安心のサービス拠点

示談交渉サービス

相手方との示談交渉や書類作成など一貫して対応

充実のロードサービス

24時間365日対応・等級に影響なし

顧問弁護士

訴訟対応への協力体制で事故解決へ

旭川 北見 札幌 釧路 帯広 室蘭 函館

あんしん・ゆとり・たすけあい みなさまのカーライフをサポートします!!

北海道自動車共済協同組合

〒065-0030 札幌市東区北30条東1丁目3-2

011-721-5233 FAX:011-721-0801

電話の受付時間 平日 9:00～17:15

<https://www.hokujikyo.jp>

新しい技術と信用のトップメーカー

自動車ナンバープレート

小松自動車工業株式会社

札幌営業所 札幌市東区北30条東1丁目1-1

及工場 〒065-0030 電話 011-752-8592(代表)

本社 東京都品川区東品川4丁目8番12号

及工場 〒140-0002 電話 03-3474-0211(大代表)

釧路



令和7年度第2回選任前研修を開催

北海道運輸局釧路運輸支局

北海道運輸局釧路運輸支局（矢島修支局長）は、資格取得となるための整備管理者選任前研修を11月5日（水）13時30分に釧路生涯学習センターまなぼとろぎ7階会議室（705・706号室）にて開催した。研修は、北海道運輸局釧路運輸支局の尾藤秀幸検査整備保安担当より挨拶が述べられ、引き続いて、整備管理者となるための道路運送車両法に基づき①選任及び届出、②管理者の権限、③日常点検、④定期点検、⑤自動車事故報告、⑥保安基準等、その他基本的事項について、パソコンを使用してプロジェクトで映像を投影し、わかりやすく解説が行われ

た。今年度第2回目の整備管理者選任前研修を無事終了した。また、すべてのカリキュラムを修了し、整備管理者になるための条件を満たしている受講者に資格となる修了証明書が一人ひとりに手渡された。（修了証明書交付人数131人）

※修了証明書を交付された方々は次のとおり（順不同・敬称略）

森下喜智（Apworks（株）阿寒営業所）、本間秀久（NXキャッシュ・ロジスティクス（株）釧路センター）、齋藤省一（梅田産業（有））、巖田幸生（釧路貨物自動車（株））、加賀田諭（宗谷トラック（株））、三浦敦（太平洋興運（株））、亀代俊之（道東

介護制度のご案内

交通事故により重度の後遺障害（脳損・脊損）を負い介護を要する方へ、国の資金により介護料を支給致します。

- ☆ 対象者 自動車（バイク含む）事故により、脳、脊髄、または胸腹部臓器に損傷を受け、常時または随時の介護を必要とする方で一定の要件に該当する方（自損・他損は問いません）
- ☆ 支給額 月額 36,500円～211,530円の範囲で、障害の程度等に応じて支給
- ☆ 注意 介護保険サービス、労災の介護給付等との併用はできません

《詳しくは》

独立行政法人 自動車事故対策機構釧路支所

〒085-0018 釧路市黒金町7丁目4番地1 太平洋興発ビル2階
電話 0154-32-7021へ ホームページ「ナスパ」で検索
専用駐車場はありませんのでお車でお越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用下さい。
なお、駐車料金はお客様のご負担となりますのでご容赦下さい。

荷役（有）、中村一雄・長谷川暢（根室市消防本部）、山中孝哲（野村運輸（株）釧路事務所）、内山厚（マルタ力運輸（株））、澤田五月（ユート運輸倉庫（株）釧路営業所）、白幡涼馬・藤村勇二・鈴木章浩・山田貴司（阿寒バス（株）釧路営業所）、高山和美（株Seaplus）、石川裕行（株島田商事北広島営業所）、福島隆行（株シミズワークス）、亀岡玲惟（株中標津町自動車学校）、佐藤健二（株万両屋）、大能哲也（株ミツシヨ）、相木瑞弘（株柳月）、天野智洋（釧十運輸（株））、森島克久（釧路北交ハイヤー（株））、宮本隆靖（札幌自動車運輸（株）釧路支店）、佐々木龍徳（日標運輸（株）釧路営業所）、小野寺正仁・佐々木則行（北海道郵便運送（株）釧路営業所）、吉田恭士（有山田運輸）、中村茂樹（有大興運輸釧路本社）

※次回の開催は令和8年5月中旬を予定しています。詳細は、『釧根自動車協会』のホームページのトピックス欄に開催の1か月前前から掲載いたしますので、ご確認ください。
～ ホームページアドレス ～
<https://www.senjikyo.jp/topics/>

「国会定期便」車両で 自動運転の実証

経産省

経済産業省は、職員が議員会館や国会への移動に利用する「国会定期便」車両で、自動運転技術を実証する。自動運転の普及機運を醸成するとともに、量産効果でコストを削減する狙いで、公共調達が可能かも確認する。11月17日には赤澤亮正経産相が試乗した2写真。

ティアフォー（東京都品川区）が事業を受託。スズキ「ソリオ」3台に自動運転ソフトウェアを組み込んだ電子制御ユニット（ECU）を搭載。自動運転「レベル2（高度な運転支援）」で時速40～50キロで走る。三次元地図の作成や試験走行を



の難易度は高い。今回の実証で技術的な課題を明らかにし、今後の公共調達につなげる。

令和7年9月街頭検査を実施

北海道運輸局釧路運輸支局

北海道運輸局釧路運輸支局では、9月3日（水）13時10分から14時10分の約1時間、および24日（水）13時20分から14時20分の約1時間にわたり、「不正改造車排除運動強化月間」及び「自動車整備推進運動」の一環として恒例の街頭検査を国道38号線沿いの釧路運輸支局自動車検査場において実施した。

この街頭検査は釧路警察署の応援を得て、釧路運輸支局の担当職員をはじめ、釧路地方自動車整備振興会、日本自動車販売協会連合会釧路支部、釧根地区ハイヤー協会、釧根自動車協会、各自動車整備工場の検査員などの関係団体職員によって、各日およそ40名のスタッフが協力し、車両の検査が実施された。

国道38号線を走行する自動車など、両日合わせて202台を無作為に釧路警察署の署員が釧路運輸支局の検査場敷地内に誘導し、スタッフが専用機器を使用して排気ガスの濃

度確認（法で定められた一酸化炭素〈CO〉・炭化水素〈HC〉濃度が基準値以下か）や近接排気騒音の確認や目視でランプ類の灯光の色・点灯状況・点滅状況・破損状況等、その他違反が多い箇所を重点的に検査した。

今回の街頭検査でも依然として違反が目立ち、整備不良車両が3日に7台、24日に5台あった。また、24日には無車検車両が見受けられた。車検制度は、自動車の機械的トラブルによる事故を未然に防ぐ、交通安全の根幹を為す制度であり、無車検車の発見は非常に残念である。今後も自動車定期点検整備を推進するべく、運動を強化していきたい。

《実施結果》（2日間合計）

- | | |
|----------------------|--------|
| ①検査車両数 | 202台 |
| ②整備不良車両数（うち整備命令台数2台） | 12台 |
| ③無車検車両数 | 1台 |
| 《主な不適合箇所》 | |
| ①番号灯不点灯 | 10台 |
| ②前照灯不点灯 | 1台 |
| ③前照灯損傷 | 1台 |
| ④補助制動灯不点灯 | 2台 |
| ⑤後部反射器色 | 1台 |
| ⑥窓フィルム | 1台 |
| ⑦回転部分突出 | 2台 |
| | （整備命令） |
| | （整備命令） |
| | （整備命令） |

毎月15日は
道民
交通安全の日

ハイヤー・タクシーでの忘れ物・お問い合わせは

☎ 0154-51-2173

釧根地区ハイヤー協会

〒084-0906 釧路市鳥取大通6丁目1番1号（自動車会館3階）

釧路ハイヤー協同組合発行
便利なタクシーチケット
お支払いはスムーズ！

お問い合わせは ☎ 0154-52-1331

釧路ハイヤー協同組合

〒084-0906 釧路市鳥取大通6丁目1番1号（自動車会館3階）

運転適性診断をご利用ください ～ 事故防止のために ～

自動車事故を防ぐには、まず運転に繋がるくせを知ることが大切です。そのために、ぜひ「適性診断」をご利用ください。
カウンセリングやアドバイスを行うものも用意しております。

診断の種類等

- ◆ 一般診断（診断のみ） : 2,400円 …… 所要時間 約60分
- ◆ カウンセリング付き一般診断 : 4,800円 …… 所要時間 約90分
- ★ 1日4回実施しており、予約制となっております。

《詳しくは》

独立行政法人 自動車事故対策機構釧路支所

〒085-0018 釧路市黒金町7丁目4番地1 太平洋興発ビル2階
電話 0154-32-7021へ ホームページ「ナスパ」で検索
専用駐車場はありませんのでお車でお越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用下さい。
なお、駐車料金はお客様のご負担となりますのでご容赦下さい。

令和7年度整備管理者選任後研修会

研修会場と日程(予定)のご案内

一般社団法人釧根自動車協会・一般社団法人釧根地区トラック協会・釧根地区ハイヤー協会は北海道運輸局釧路運輸支局と共催で、令和7年度整備管理者選任後研修会を次の日程により実施する予定となった。

この研修会では、車両管理の実務、最近1年間における関係法令の改正並びに主要通達の事故防止対策及びその他整備管理者に必要な事項を勉強する。

- ▼研修会場と日程の予定
- ①会場
釧路市生涯学習センター
(まなぼとろぎ舞)
〒085-0836
釧路市幣舞町4番28号
 - ②住所
〒085-0836
釧路市幣舞町4番28号
 - ③開催日
第1回目(第3回目)
令和8年1月中旬予定
 - *例年よりも早期の開催予定となっております。ご注意ください。
 - ④時間
●受付：午後1時より1時30分まで【時間厳守】
●開始：午後1時30分から
●終了：午後4時頃
 - *日程は確定し次第、釧根自動車協会ホームページに掲載いたします。
ホームページをご覧になるか、釧路運輸支局整備課(TEL0154-5112523)までお問合せください。
 - *駐車場の台数に限りがありますので、乗り合い又は公共交通機関をご利用ください。

令和7年度整備管理者選任後オンライン研修(定期研修)の実施について

このたび、整備管理者の皆さまを対象とした「令和7年度 整備管理者選任後オンライン研修(定期研修)」を新たに開始することとなりました。

従来の会場研修に加え、インターネット環境があればどこからでも受講できるオンライン形式をご用意しております。

○研修概要

研修名称：令和7年度整備管理者選任後オンライン研修

開始時期：令和7年度より順次実施

受講方法：専用オンラインシステム(PC・タブレット・スマートフォン対応)

対象者：整備管理者選任後の方
定員：全国で約30,000名

○特徴

- ・会場に向かわずに受講可能
- ・録画配信で復習が可能
- ※全国定員(約30,000名)に達した場合は、従来通りの会場研修での受講となります。あらかじめご了承ください。
- ※会場研修の予定は、令和8年1月を予定しています。

詳細な日程・申込方法につきましては、釧根自動車協会ホームページのトピックス「令和7年度 整備管理者選任後オンライン研修(定期研修)」の添付ファイル【令和7年度整備管理選任後 オンライン研修案内(釧路)】をご確認ください。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

省国交「事業用自動車総合安全プラン2030」重点施策に外国人運転手対策

国土交通省は、トラックやバス、タクシーの事故削減に向けた方針や施策を示す「事業用自動車総合安全プラン2030」に、重点施策として外国人運転手対策を盛り込む。外国人運転手が関連する事故が起きた際、勤務形態など組織的・構造的な原因を積極的に究明する。在留資格の「特定技能1号」に自動車運送業が追加されたことを踏まえ、外国人運転手の事故防止対策を充実させる。

事業用自動車総合安全プランは、事業用自動車(緑ナンバー)の事故削減目標や発生件数の多い事故への対処方針、具体策などを示すもので、5年ごとに改訂している。次期プランは2025年度中にも策定し、来年度からスタートさせる考えだ。

事業用自動車においては、重大事故の事故分析などを行う「事業用自動車事故調査委員会」が今年、「10年総括」を公表。この中で、今後10年のキーワードの一つとして、外国人運転手を挙げている。24年に自動車運送業が特定技能1号に追加されたことで、政府は28年度末までに最大2万4500人の外国人運転手を受け入れることを見込んでいる。

外国人運転手が増えることで、新たな事故リスクが増えることも予想される。このため次期プランでは、外国人運転手による重大事故が発生した場合、事故の背景や原因などを、事業用自動車事故調査委員会において積極的に究明し、事故防止対策につなげていくことにした。

【用語解説】「10年総括」事業用自動車の事故防止に向け、国土交通省が2014年に立ち上げた「事業用自動車事故調査委員会(事故調)」の活動報告書。事故調には労働科学や社会学など8分野の有識者が参画しており、事業用車が関連する事故の構造的な要因を多角的に解明している。10年総括では、重大事故58件の傾向や原因を分析し、再発防止策などを示した。また、今後10年のキーワードには、外国人運転手のほか、小型を含む「モビリティの多様化」「高齢者」「16〜24歳の若年ドライバ」「普通第二種免許」の取得時間短縮などを挙げた。

前方障害物の検知装置 転倒した歩行者を検知

後付け用安全装置を手掛ける日本ヴェーテック(川崎市中原区)は、路線バスの発進時に前方障害物を検知する装置を開発した。停車中に車両前方で転倒した高齢者など、運転手の死角になりやすい位置にいる歩行者を検知し、音や光で警告を出す。路線バスの車体前方にある障害物の検知に特化した装置は、これまでなかったという。同社によると、前方の転倒者に気付かずに進んで接触してしまう交通事故は増加傾向にある。すでに一部のバス事業者での採用が決まっているが、今後、全国の事業者提案し、受注拡大を目指す。

車両前方に設置する24ギガヘルツ帯のミリ波レーダーと、運転席に置くインジケータで構成する。同社が市販している後方用の障害物検知装置をベースに、路線バス用に検知範囲を最適化した。ミリ波レーダーのため、ソナーと比べて天候による影響を受けにくく、高い測距性能が見込める。価格は1基当たり10万円程度という。

装置は、京浜急行バス(横浜市西区)からのオーダーをきっかけに開発した。京急バスでは2024年度と23年度に、それぞれ4件の加害事故が発生。この一部が、バス停車中に前方を横切ろうとした歩行者が転倒。それに運転手が気付かずに進出した際に接触した事故だった。これを防ぐため、京急バスが600台の路線バスに日本ヴェーテックの装置を搭載することを決めた。

同社によると、他の複数のバス事



運転手に危険を知らせるインジケータ

【安全運転は運転経歴証明書から】

- ◎ 交通事故・違反防止に対する職場の連帯感が生まれます
- ◎ 交通事故処理等に費やす無駄な労力、保険料の減少も期待できます
- ◎ 必須アイテムとして多くの企業が安全運転管理に利用しています
- ◎ 1年以上無事故無違反者にはSDカードが交付されます

SDカードは定型優遇店が全国にあり割引制度等の特典があります
詳しくはホームページをご覧ください
(<http://www.jsdc.or.jp>)

申請方法 代表者が委任を受けて一括申請することが出来ます。申請手数料1通800円です。
詳しくは、下記事務所にお問合せ下さい

自動車安全運転センター北海道釧路方面事務所
〒085-0018 釧路市黒金町10丁目5の1
北海道警察釧路方面本部1階 TEL0154-25-7171

JAFといつまでも。

選ばれて60年！JAF入会**3**つのメリット

- メリット① 「車」ではなく「人」にかかるサービスだから適用範囲が広い！**
- メリット② 出動件数約230万件(*)！専任隊員による高水準なサービス**
*2024年4月1日～2025年3月31日集計
- メリット③ 保険適用外のトラブルにも利用回数制限なしで対応。保険+JAFでさらに安心！**

詳しくは「JAF」で検索！

一般社団法人
日本自動車連盟 釧路支部

〒084-0906 北海道釧路市鳥取大通8丁目2番11号 TEL.0154-51-2167